授業科目	教職実践演習（中・高）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期
担当教員	塚本　美紀、西原　真弓、木村　政伸、一期崎　直美、杉谷　修一、西丸　月美、増本　由紀子、浜谷　小百合						
授業概要	この演習は、これまでの教職課程での学びと教育実習を振り返りながら、教師としての使命感、保護者や地域社会への責任、信頼される学校づくりなどの課題について総合的な理解を深めることで実践力をさらに伸ばす機会となることを意図している。また、教育対象である生徒理解の方法や教師としての専門性を高めるためのリソース活用法などの各テーマについて、グループ学習や討議・発表などの演習形式に沿って学習し教師としての実践的技能と資質・能力の向上を目指す。						
授業形態	演習			授業方法	テーマに応じて、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを行う。		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1．教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ることができる。 2．教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすことができる。 3．信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ることができる。 4．生徒理解に基づいた教育活動を展開することができる。 5．授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすことができる。 6．教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用することができる。
理想的レベル	下記のことを、高いレベルで遂行することができる。 1．教職課程での学びを再点検し、自らに残された課題を探ること。 2 教師として求められる資格・能力を具体的に学校場面に結び付けて理解し伸ばすこと。 3．信頼される学校づくりに貢献する教師の在り方を理解し具体的な方策を探ること。 4．生徒理解に基づいた教育活動を展開すること。 5．授業の計画、実施、評価に関する知識と実践力を伸ばすこと。 6．教師として自律的な成長に必要なリソースを探り活用すること。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	60%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物		
その他	20%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	EN44120J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。	4

授業計画

第 1 回	テーマ：イントロダクション（全員）

	これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。
第 2 回	テーマ：生徒理解の方法（塚本） 生徒を理解するための方法について演習を通して理解する。
第 3 回	テーマ：家庭や地域、関係機関との連携（外部講師、塚本、西原） 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について学ぶ。
第 4 回	テーマ：教師にとっての使命感（杉谷） 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループで討議を行うことを通じ、教師の使命感を涵養する。
第 5 回	テーマ：中学生に対する模擬授業（1）（西原） 各自の課題についてグループ間で討議し、実践力向上に向けた演習を行う。
第 6 回	テーマ：中学生に対する模擬授業（2）（西原） 授業計画・実施に関する自分の課題に基づき、実践力向上に向けた演習を行う。
第 7 回	テーマ：中学生に対する模擬授業（3）（西原） 評価に関する自分の課題に基づき、実践力向上に向けた演習を行う。
第 8 回	テーマ：高校生に対する模擬授業（1）（塚本） 各自の課題についてグループ間で討議し、実践力向上に向けた演習を行う。
第 9 回	テーマ：高校生に対する模擬授業（2）（塚本） 授業計画・実施・評価に関する自分の課題に基づき、実践力向上に向けた演習を行う。
第 10 回	テーマ：教育実習の再点検（西原） 教育実習に参加して明らかになった課題について各自グループ内で討議し課題を明確にする。
第 11 回	テーマ：生徒との関係づくり（塚本） 生徒との信頼関係を構築するためのコミュニケーション技術について学ぶ。
第 12 回	テーマ：現代社会における ICT の活用と教育における導入（塚本） 近年ますます重要な課題となっている学校現場における ICT の活用について学ぶ。
第 13 回	テーマ：リソースの活用法（塚本） 教師に求められる専門性を高めるためのリソース活用法について学ぶ。
第 14 回	テーマ：資質能力の向上に向けた課題の確認（全員） 教師として求められる資質能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について整理する。
第 15 回	テーマ：まとめ（全員） 第 14 回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。

テキスト	教科書を用いない。教員が適宜に資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	履修カルテ、教育実習記録簿、その他、授業の中で具体的に指示する。
課題に対するフィードバックの方法	［達成度評価に関するコメント］ 演習中及びその後に作成した課題やレポート：60%、授業での積極性や貢献度：20%、プレゼンテーション： 20% 「達成度評価」の「その他」は、授業での積極性や貢献度を指す。 ［課題に対するフィードバック方法］ 課題や質問事項等についてはチェック後に後日フィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	教職課程で学んできたことを前提に総まとめとしての演習を行う。 この演習は、教職課程の最終段階として、これまでの全ての学習や活動の総点検をしながら、実践的技能や能力の向上を目指すものである。履修カルテを活用しながら、教職の関連科目や専門科目と教育実習を各自で振り返り、授業に臨んで欲しい。教員を目指す者には、採用試験に向けた準備のためにも色々と参考になる情報や知識が含まれているので、この授業を大いに活用して欲しい。授業中の教師の説明や解説、意見交換の内容をこまめに記録して役立てることをお勧めする。